

ボローニャ大学交換留学月例報告(1月分)

文化政策学部 国際文化学科 3年 恒枝碧

Buongiorno! 国際文化学科 3年の恒枝碧です。徐々に学生たちもボローニャに戻ってきたことで通常のボローニャの活気に戻りつつあります。2週間ほど両親がイタリアへ旅行に来ていたので今回はその旅行を共有したいと思います。

【またもやフィレンツェ・ローマ】

「またかよ」と思われる方もいると思いますが、また行ってきました。今回は前回友人と回った場所に加えてフィレンツェではアカデミア美術館で《ミケランジェロ作 ダヴィデ像》を見たり、ミケランジェロやガリレオ・ガリレイが眠っているサンタ・クロチェ聖堂で彼らのお墓参りをしたり、長い螺旋階段を登ってフィレンツェの Duomo(大聖堂)の一番上まで行ってきたりと、今回も充実していました。ローマでは前回入らなかったバチカン市国のサンピエトロ大聖堂に足を運んで教皇の財力に圧倒されたり、トレビの泉で写真だけ撮ったり、スペイン広場の階段で休憩したり、ボルゲーゼ美術館でバロック期の彫刻家ジャン・ロレンツォ・ベルニーニの作品の偉大さに口が塞がらなかったりと、ローマ旅もすばらしいものになりました。日本にいたときに大学の授業のレポートや個人的に学んで扱ったルネサンス・バロック期の作品をこの目で見ることができ有意義な数日間でした。



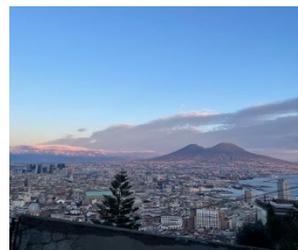
【南イタリア初進出！In ナポリ】

ローマを訪れた後、さらに南下してナポリへ行ってきました。フィレンツェやローマとは全く違って異国に来たかと思うほど街の様子が違います。ナポリ駅周辺はお世辞でも「きれい・治安がいい」とは言えず、スリを警戒すべきだと肌で感じるような空気感です。狭い路地が多く道の両脇にはお店が続いていますが上を見上げると洗濯物がたくさん干してあり生活感がすごいです。これはローマやフィレンツェと異なる点です。そして、イタリア第三の都市であるため車の交通量も普通に多いのですが基本的に信号が見当たりません。車も人もどんどん渡ります。慣れているので良かったのですが、もし初海外一発目がナポリだったら何回死にそうになっていたんだろうかと思いました。そして一番おもしろかったのがナポリ人のマラドーナ愛が半端ではないということです。マラドーナをご存じでしょうか。サッカー界のレジェンドであるあのマラドーナです。私は名前だけ聞いたことある程度だったのですが、ナポリのお土産の半分はマラドーナ関連グッズです。街のいたるところに彼の顔があり街がチームカラーの水色にあふれています。



《Vedi Napoli, e poi muori》(ナポリを見てから死ぬ)というイタリアのことわざをご存じ

でしょうか。良港のナポリを見ないで死んでしまったら生きたかいないと言えるほど風光明媚な場所である、という意味です。駅周辺やごちゃついた中心部を歩いてもそうは思いませんが、丘の上にある城付近からナポリを一望すると、それは本当に美しい街でした。街と海とヴェスヴィオス火山とその奥に連なる山脈が夕日に照らされた景色はことわざの通りでした。



【さらに南下！In アマルフィ】

アマルフィという海岸沿いにある街を聞いたことがありますか。ナポリからサレルノという街まで電車で行き、そこからバスで向かいました。このバスが本当にすごくて、右は反り経つ山、左は海岸沿いという基本的に車の交差が困難なくねくねした道を普通のスピードで通り抜けます。常に前方の視界が悪くバスの運転手さんは 2 種類のクラクションを使って通ることを知らせます。あのバスの運転手さんは運転のプロ中のプロという感じです。運転がうますぎます。白い壁の家々と青い海と空のコントラストが圧巻でどこを切り取っても絵本の中にいるようでした。アマルフィは陶器が有名で大聖堂の装飾に陶器が使われておりすごくかわいらしい色使いと見た目、さらに、中に入るとたまたま結婚式が行われていました。大聖堂に続く長い階段の下で新郎新婦を待っていると彼らが階段をゆっくりと降りてきて下で待っていた親戚たちがピンク色の花吹雪を発射していました。花びらが彼らの上空をきれいに舞って快晴の空と大聖堂の白さと花吹雪のピンクがキラキラ光っていて美しいことこの上なかったです。また、お土産屋さんの奥さんが本当に親切で気さくな方で彼女に助けてもらって帰りのバスチケットをゲットできました。皆さんにもぜひ訪れてほしい街です。



【ポーニャ帰宅後 日帰り旅行 In ヴェネツィア】

最後はヴェネツィアのブラーノ島に行ってきました。ヴェネツィア本土から船で 40 分ほどのところにある小さな島で目を引くカラフルな街並みが特徴的です。家ごとにちよつとずつ色が違って大好きな街並みでした。やはりヴェネツィアは何回来てても飽きません。

両親が帰国する前日に母が私の家で肉じゃがを作ってくれました。久しぶりにちゃんとした日本食を食べられて嬉しかったです。2 月からは授業が始まるので友達とも会いながら日々を大切に生活していきます。

